



とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

- ②～⑤ 3月定例会
当初予算・補正予算・質疑
- ⑥～⑪ 一般質問
- ⑫～⑬ 委員会報告
(総務産業建設・文教市民福祉)

- ⑭ 討論等
- ⑮ 表決・議決結果一覧表
- ⑯ 全国市議会議長会
- ⑰ 評議員会報告

2017年
第45号

平成29年5月1日発行



吹上池の春

3月定例会

平成29年度一般会計
144億200万円(前年度比0.01%増)
特別会計、企業会計を合わせた
総額は262億4,060万円(前年度比0.8%減)

平成29年度 特別会計・企業会計当初予算

会計名称	当初予算額	前年度対比	
国民健康保険	44億 650万円	1億1,230万円	(2.6%増)
後期高齢者医療	3億9,600万円	△10万円	(0.03%減)
介護保険	38億6,530万円	3,350万円	(0.9%増)
ふるさと交流館	1億6,650万円	△220万円	(1.3%減)
簡易水道	—	△50万円	※
農業集落排水	1億7,960万円	1,160万円	(6.9%増)
公共下水道	11億3,690万円	5,540万円	(5.1%増)
水道事業	16億8,780万円	△4億3,190万円	(20.4%減)

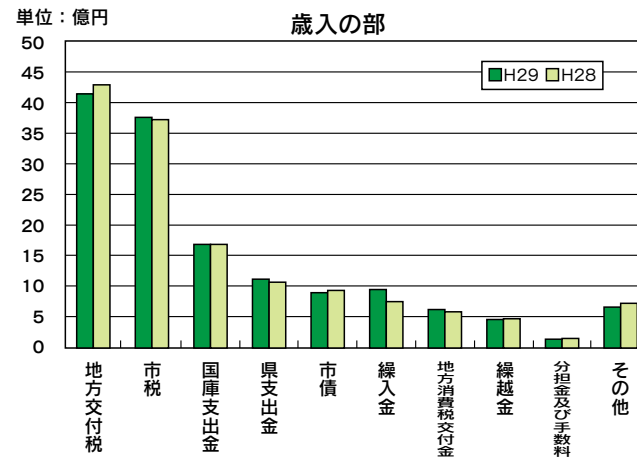
※簡易水道特別会計は廃止されました。

- ☆ 空き家有効活用支援事業 983万円
- ☆ U・J・ターナー者支援事業 200万円
- ☆ 移住コーディネート事業 840万円
- ☆ 移住就業体験事業 400万円
- ☆ 移住就業体験事業 2,300万円
- ☆ 移住地「とうおん」ブランド創生事業 2,300万円
- ☆ (良好な住環境づくりの推進)
- ☆ 移住地「とうおん」ブランド創生事業 2,300万円
- ☆ 環境施策の総合的推進) CO₂排出権活用事業のうち COOL CHOICE普及事業 500万円
- ☆ (農林業の振興) 林業先進事例調査研究事業 50万円
- ☆ (商工業の振興) 中小零細企業現状把握調査事業 283万円
- ☆ 中小零細企業販路拡大支援事業 300万円
- ☆ 中小零細企業販路拡大マッチング事業 39万円
- ☆ とうおんブランドづくり推進事業 300万円
- ☆ 起業支援事業 246万円
- ☆ とうおん健康医療創生事業 497万円
- ☆ (観光・物産の振興) エコツーリズム促進事業 175万円
- ◎ フォトコンテスト開催事業 107万円
- ☆ 地域資源活用全国展開支援事業 20万円

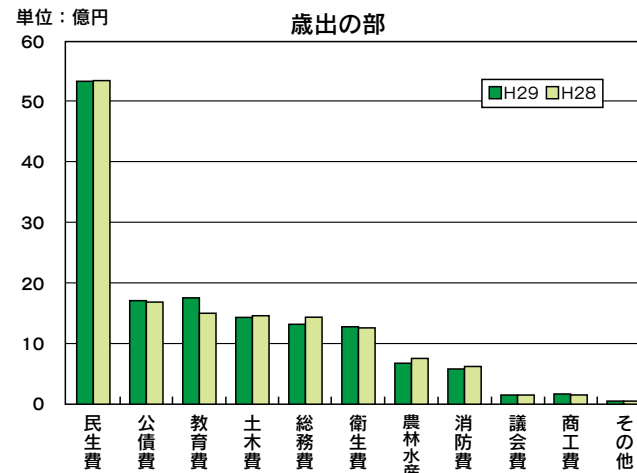
- 3月定例会が2月28日から3月15日まで16日間の会期で開催された。一般会計は144億200万円(前年度比0.01%増)で、特別・企業両会計を合わせた総額は262億4,060万円(0.8%減)。
- 当初予算など議案20件を原案可決、副市長の選任、農業委員会委員の任命、固定資産評価員の選任、人権擁護委員候補者の推薦に同意した。請願1件は不採択。また8人の議員が一般質問を行った。
- 平成29年度一般会計予算に計上された新規及び大幅増額事業等
- (注) 事業名の◎印は新規事業 ○印は大幅増額事業 ☆印は総合戦略事業
- ☆ (地域福祉体制づくりの推進) 避難行動要支援者支援事業 508万円
- ◎ 地域福祉計画策定事業 515万円
- ◎ (高齢者施策の充実) アクティブシニアボランティア養成事業 10万円
- ◎ (障がい者施策の充実) 障害福祉計画策定事業 429万円

- ◎ (子育て支援の充実) ☆ 子ども医療費助成 1億2,716万円
- ☆ ファミリー・サポート・センター拡充事業 108万円
- ◎ 紙おむつ購入券配布事業 584万円
- ☆ 子育て支援拡充事業 1,566万円
- ☆ 児童福祉施設等人材バンク活用事業 77万円
- ◎ 子ども用品リサイクル促進事業 15万円
- ◎ (学校教育の充実) ○ 中学校生徒用机椅子整備事業 1,806万円
- 小学校施設大規模改修事業 1億5,049万円
- ☆ 国際理解教育推進事業 86万円
- ◎ 道徳教育推進事業 60万円
- ◎ 環境教育推進事業 30万円
- ☆ 特色ある学校づくり事業助成 142万円
- ☆ 演劇指導等アウトリーチ事業 103万円
- ・ 小学校 30万円
- ・ 中学校 10万円

平成29年度 一般会計予算の対前年度比較(前年度対比0.01%増)



- ◎ (文化・スポーツの推進) ○ 歴史民俗資料館別館(仮称)整備事業 90万円
- ◎ スポーツ推進計画策定事業 171万円
- ◎ 各種スポーツ大会等開催事業のうち ○ ボールゲームフェスタ2017開催経費 1万円
- ◎ 体育施設改修事業のうち ○ 重信川かすみの森公園多目的広場トイレ整備 2,576万円
- ◎ えひめ国体開催事業 2億2,836万円



- ◎ (安全・安心な都市基盤の整備) ☆ スマートインターチェンジ整備事業 3,540万円
- ◎ 特定不妊治療費助成 100万円
- ☆ 三世代同居支え愛家族支援事業 800万円
- ☆ 婚活支援事業 104万円
- ・ 私立幼稚園 102万円
- ・ 市立幼稚園等 186万円
- ・ 市立保育所等 372万円
- ☆ 東温市多子世帯保育料等軽減事業



ソフトボール少年男子競技会場 (総合公園多目的グラウンド)

(地域コミュニティの育成)

☆集落支援事業

474万円

☆地域おこし協力隊導入事業

3,720万円

☆頑張る中山間地域等支援事業

1,030万円

(市民と行政との協働のまちづくりの推進)

◎行政区別・世代別タウンミーティング開催事業

195万円

☆市民提案活動支援事業

212万円

☆多世代交流拠点運営管理事業

428万円

☆アート・ウィレッジとうおん創生事業

5,000万円

☆市民ミュージカル開催事業

307万円

☆市民参加型まちづくり推進事業

30万円

☆地方創生総合サイト運用管理費

117万円

(自立した自治体経営の推進)

◎ふるさと納税推進事業

626万円

◎収入印紙売り捌き所開設

70万円

◎婚姻届記念証発行

15万円

◎各種証明コンビニ交付サービス事業

3,064万円

平成28年度一般会計3月補正予算に計上された主な事業

(市民と行政との協働のまちづくりの推進)

☆アート・ウィレッジとうおん創生拠点施設整備事業

8,300万円

(観光・物産の振興)

☆さくらの湯観光物産センター(仮称)整備事業

8,975万円

(高齢者施策の充実)

◎高齢者施設防犯対策強化事業

89万円

議案に対する質疑

一般会計当初予算

問 空き家対策協議会の内容は。

答 老朽危険空き家の除去の実施、空き家対策計画の作成等の協議をする。除去事業は1戸当たり上限80万円、平成29年度5

戸を予定。国2分の1、県4分の1を補助がある。

問 雇用創出奨励金の目的は。

答 市内の雇用促進、地域産業活性化を図るために、市内在住者を正規雇用し、12カ月を超えて継続雇用の企業に対する補助である。

問 東温ブランドづくり推進事業の方向性は。

答 現状は1次産品に限定しているが、今後は工業製品等も検討したい。

問 介護保険制度改正による新しい総合事業の内容、事業所申請は。

答 地域支援事業の内容が見直され、全国一律で実施されている要支援者対象の介護予防事業の中の訪問介護及び通所介護が平成29年4月から市が実施する新しい介護予防、日常生活支援総合事業(いわゆる新しい総合事業)に移行する。事業所は新たに4月以降指定となる。

問 公共下水道条例の一部改正について

問 今回の下水道使用料引き上げによる増収はどのくらいか。

答 年間、2,700万円から3,000万円程度の増収となる。平成29年度は途中からとなるため1,800万円を見込んでいる。

一般会計補正予算

問 空き家活用支援事業の状況は。

問 防災行政無線個別受信機等購入費補助事業の実績と見込みは。

答 平成27年度は68世帯が設置。平成28年度は22世帯。平成29年度は300世帯を見込んでいる。

問 ふるさと納税に返戻品を付けることでのような取り組みになるのか。

答 平成26年度から特産品の詰め合わせを返戻品とした。平成28年12月からメニューを大幅に拡大し、業務を代行委託した。2月末で293件、寄附金626万5千円。平成29年度は1,000万円を目標としている。返戻品に係る歳出予算は2分の1に当たる500万円を計上。

問 視覚障がい者用床タイルの設置場所は。

答 本庁舎前の身体障がい者専用の駐車場から庁舎入口まで。

問 フォトコンテスト開催事業の内容は。

答 前回、平成23年度に開催し応募作品が675点あり、観光ポスター等に活用した。今回は、テーマを広げ、募集期間を4月から2月までと長くし、応募

問 県との協調補助の対象者がいなかったため減額となった市単独の部分では4件活用があった。

答 県との協調補助の対象者がいなかったため減額となった。残り13件は来年度以降の申請となるため減額となった。

問 移住定住促進事業の2,000万円減額の要因は。

答 契約は17件あったが、住宅を建築し移住後の申請となるため一定期間を要し、実際には見込みも入れて4件であった。残り13件は来年度以降の申請となるため減額となった。

問 集落支援員の活動状況は。

答 専任1名が週に30時間を目安に活動している。市内全区域の区長に聞き取り調査などを行い、集落の状況や活性化に向けた意向調査や地域のイベントなどの補助をしている。地域おこし協力隊の活動支援や川内4地区の地域運営組織立ち上げに向けた支援を実施。

問 川内健康センター給水管改修工事の内容は。

答 駐車場の舗装下で給水管が漏水を起しているため、全面的に布設替えをする。



とうおんブランド推進事業を活用して取り組んだ商品

募してもらえような仕組みにしたい。県内の写真家協会、営業写真家協会、愛媛新聞の編集局等に審査員になってもらう。賞金は最優秀賞に5万円、優秀賞に2万円。



平成27年度に行われたとうおんファミリーフェスティバル

問 スマートインターチェンジの基本計画の内容は。

答 地域の活性化、松山市圏の渋滞緩和、災害派遣の迅速性などの効果を期待して進めている。高速道路の本線から降り降りできる構造。今後、候補地の絞り込みを行いたい。

問 オキチモスクの現状は。

答 天然記念物として国の指定を受けている藻の一種。平成17年に藻が確認されたが発生には至っていない。胞子の付着はあり発育状況を観察していく。

問 東温健康医療創生事業の概要は。

答 ヘルスケア事業の中で、看護部会、栄養部会、ヘルスケア部会へ委託する。来年度、アンチエイジング事業として、県外の方々に対象に、さくらの湯等

問 とうおんファミリーフェスティバルの方向性は。

答 平成27年度に開催し、多くの集客も見込めたが、「産業まつり」との差異があまり見当たらないため平成28年度は検討期間とした。平成29年度は市内の中小零細企業の紹介、にぎわいの創出等をめざしてのイベントにプラスして「全国スイーツマラソン大会」を開催する。親子で参加、事業所紹介、東温市の新たなスイーツ等を紹介できるよう相乗効果を図りたい。

問 東温健康医療創生事業の概要は。

答 ヘルスケア事業の中で、看護部会、栄養部会、ヘルスケア部会へ委託する。来年度、アンチエイジング事業として、県外の方々に対象に、さくらの湯等

問 今回の下水道使用料引き上げによる増収はどのくらいか。

答 年間、2,700万円から3,000万円程度の増収となる。平成29年度は途中からとなるため1,800万円を見込んでいる。

問 川内健康センター給水管改修工事の内容は。

答 駐車場の舗装下で給水管が漏水を起しているため、全面的に布設替えをする。

8議員 市政を問う!!

一般質問



3月定例会



国道11号線 桜三里

桜三里(国道11号線) 桜の保存・整備



安井 浩二 議員

問 一般的に我々がイメージしている桜三里は、国道494号線の分岐地点、西側上り坂付近から西条市湯谷口付近までの国道11号線と、近年減少傾向にあるこの「桜三里」の桜を保存、整備すべきではないか。国土交通省の道路交通センサスによると1日当たりの車の台数は約1万5千台であり非常に多くの人が「桜三里」を通過し、訪れている。古きは金毘羅街道の中山越え、また現在では交通の要衝となっている国道11号線の桜三里、その名は地名としても広く知られ、多くの人に親しまれている。この現代の「桜三里」を名実ともに後世に残すため、桜の木々の積極的な保存・育成活動に取り組みなど、整備を行ってほしい。そのためには、「親しみ国道11号」を管理する

問 イメージしている桜三里は、国道494号線の分岐地点、西側上り坂付近から西条市湯谷口付近までの国道11号線と、近年減少傾向にあるこの「桜三里」の桜を保存、整備すべきではないか。国土交通省の道路交通センサスによると1日当たりの車の台数は約1万5千台であり非常に多くの人が「桜三里」を通過し、訪れている。古きは金毘羅街道の中山越え、また現在では交通の要衝となっている国道11号線の桜三里、その名は地名としても広く知られ、多くの人に親しまれている。この現代の「桜三里」を名実ともに後世に残すため、桜の木々の積極的な保存・育成活動に取り組みなど、整備を行ってほしい。そのためには、「親しみ国道11号」を管理する

問 高年齢ドライバーバ相次いだことから、3月12日に75歳以上の

問 東温市には何か

問 産業創出の方向性は。

問 産業創出の方向性は。

問 観光大使たすき市の提供や、東温市に行きたくなるような宣伝文句、キャッチコピーの策定、観光PRにつながるように工夫した名刺の提供、東温市観光大使サミットの開催などを行うことにより、東温市以外の地で活躍する大使の力を借り、よ

問 東温市には何か

問 産業創出の方向性は。

問 産業創出の方向性は。

東温市観光大使の方向性は



東村 温輝 議員

加藤市長 坊っちゃん劇場の役者さんを中心に現在42名が観光大使。東温市のイメージアップと観光物産の振興を図るための活動として、地元イベントへの出演などがあり、平成27年にはFM東京において、ラジオ出演を行った。

山本産業創出課長 本市では、見本市・ゆるキャラまつり・スリートツマラソンを実施する予定。小規模なイベントは、地域やNPOなど個々の団体が、目的や課題解決のため、それぞれが特色を生かして開催することが効果的と思われることから「東温市市民提案活動支援事業補助金」の活用が最適と考えている。

山本産業創出課長 本市では、見本市・ゆるキャラまつり・スリートツマラソンを実施する予定。小規模なイベントは、地域やNPOなど個々の団体が、目的や課題解決のため、それぞれが特色を生かして開催することが効果的と思われることから「東温市市民提案活動支援事業補助金」の活用が最適と考えている。

り多くの方たちへ東温市を広く知ってもらうことができる。考えられるが、今後の東温市観光大使の活動について、市としての考えは。

しらの魅力はあるが、働く場所と遊び場は東温市以外になってしまふとの声があがっている。小規模イベントの開催について、市としての考えは。

制定し、各種支援を行っている。新しい企業の誘致は重要な施策ではあるが、継続的な安定した雇用創出のために、市内中小零細企業の「留置施策」も重要であるため、市内の中小零細企業を大切に育て、地域経済を活性化させる政策、東温版エコノミックガーデニングの確立をめざしている。



民間団体が主催するイベント



山内 数延 議員

人口減少対策に 子育て支援の充実を

体にゆとりを持たせ安心して産み、育てられる環境づくりは、人口減少対策に期待できるが建てかえの計画は。

丹生谷保育幼稚園課長

待機児童はいない。公立保育所の保育士の基準定数は確保できており、年度の途中の受け入れに対しても対応が可能である。

現在園舎建てかえの具体的な計画はなく大規模改修や部分的な改築等を行う補修工事により保育環境を整えながら、総合的に検討したい。



南吉井保育所(築後44年経過)

問 平成29年度は最終的に待機児童はいらぬのか。

待機児童をなくすため利用定数をふやしたが保育士の基準定数は確保できているか。

築後40数年が経過し老朽化が著しく手狭である園舎を建てかえ市の保育行政全

高齢者施策

問 要支援の介護予防サービスが4月から市が実施する総合事業に移行する。

利用者には新しいサービスが追加され負担も増えず利用しやすくなるが、反面介護事業所は採算がとれずサービスの縮小が懸念される。

介護業界では慢性的な介護士不足と言われているが、市内事業所の介護士の雇用状況は介護サービスに支障はないか。

大西長寿介護課長

市内の事業所の介護職員数は現在充足しており、介護サービスに支障を生じてはいない。

市内外の事業所で訪問型サービスAを実施予定、また検討中の事業所が計5事業所、通所型サービスAについては2事業所が実施を予定してお



近藤 千枝美 議員

安定的な水の供給確保を

行う。上水道(北吉井・南吉井地区)の耐震化率は、100%である。簡易水道(川内・持志地区)が平成30年度に上水道に統合されると耐震化率は約80%となる予定。アセットマネジメントの整備は、川内統合簡易水道事業の完了後、平成30年度から順次整備する。

広域連携は、本年度から愛媛県が事務局となり県内20市町の組織を立ち上げた。今後の推移を見極めていきたい。

問 管路更新率、耐震化率の現状は。アセットマネジメント(資産管理計画)はできているか。広域連携についての考えは。

森水道課長

過去5年間の管路平均更新率は1.89%。今後も交付金事業を活用し整備を



水道工事の現場

高齢ドライバーの免許返納制度、事故防止対策は

問 運転免許証返納に対する優遇制度導入や安全運転サポート車等購入時費用の助成の考えは。

門田危機管理課長

今後、優遇制度を検討する。先進安全自動車の購入等に係る助成は、先進事例を参考に研究したい。

在宅障がい者の緊急時の対策を

問 在宅障がい者の緊急時のために緊急通報サポートシステムの利用を検討してはどうか。

渡部社会福祉課長

基幹相談支援センターにおいて相談に対応している。配慮が必要な場合には、サービス事業者、相談支援専門員等による個別の対応を取っている。緊急通報サポートシステムの利用は、今

後、研究したい。**がん対策の取り組み**

問 がん教育の現状は。胃がんリスク検診の導入は。乳がん検診の対象年齢引き下げは。若年者のがん患者を支援する制度導入は。

池川教育長

発達段階に応じた健康教育のなかで、取り組んでいる。今後モデル校の実践内容を踏まえながら検討したい。

野中健康推進課長

胃がんリスク検診は、現時点で導入は予定していない。乳がん検診の対象年齢引き下げは現在のところ考えていない。若年者のターミナルケア支援は県内では実施している自治体はなく今後研究したい。

新たなまちづくりへ スマートインターの 早期実現を



山内 孝二 議員

しごと創生総合戦略の中で新たな工業団地造成事業と並行し、平成34年度末供用開始の計画を進めている。

候補地は国道11号からのアクセス、建築物等の移転、農地・水路等に配慮し地域活性化につながる場所を検討し決定する。

本線直結型の上り下り両方向の利用が可能で、大型車も通行できるETC搭載車専用の無人のフルインターであり、従来のインターと比較し簡易な設備による設置が可能。

問 スマートインターは今後のまちづくり・地元の活性化に重要な役割を果たすものであり、最も有効な場所、施設とならなければならぬ。進捗状況、施設仕様、完成時期は。

加藤市長 東温市まち・ひと・



スマートインターチェンジイメージ図

集落支援員、地域おこし協力隊を定住人材として活用へ

問 活動実績とその評価はどうか。国が終了しても、定住し「まちづくり推進隊」として活動してもらってはどうか。

佃企画財政課長

支援員の活動によって協力隊の導入がスムーズに進み、協力隊の導入によって中山間地域の運営組織も立ち上がり魅力ある地域づくり、活性化につながっている。任期終了後も定住し地域づくりに参加を希望する方には、市独自の任用ができれば活動組織業務について研究をしたい。

新たな視点の奨学金制度の設置を

問 現制度の実態と課題は。人口減少を食い止める移住・定住の促進策を切り口として、市及び関係組織が一体となった新たな支援制度・給付型の奨学金を考へてはどうか。

高須賀教育委員会事務局長 現制度は、市民の善意の寄附金で賄われており限度があるが継続できるよう趣旨のアピール、周知により原資の増強に努めていく。

今後若者のUターンを促進し移住・定住や子育て支援策につながる効果的な奨学金制度の創設を市内で横断的に、またキャリア教育委員会でのキャリア教育とエコノミックsgardeningを組み合わせる等の視点で給付型奨学金を検討したい。



相原 眞知子 議員

男女共同参画社会づくり に向けて

問 平成18年の計画と平成28年に策定した第二次計画との新規・変更事項は。

永野総務部長

女性の職業生活における活躍の推進を重点目標に追加し、男女共同参画に関する男性の理解促進、セクシュアル・ハラスメント

ト等防止対策の推進男女共同参画の視点に立った防災対策の推進を施策に追加した。
主な変更事項として男女間のあらゆる暴力の根絶に向けた取り組みを推進していくこととした。

問 東温市版「ひめボス」宣言は。

加藤市長

長時間勤務の削減男女ともに育児や介護に係る休暇等が取得しやすい環境の整備など、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みが重要であるため、特別職・管理職による「ひめボス」宣言を実施したい。

オフィス改革万全

問 課の配置換えの計画と総合保健福祉センター建設時

に、窓口の表示サインの変更はできないか。

渡部総務課長

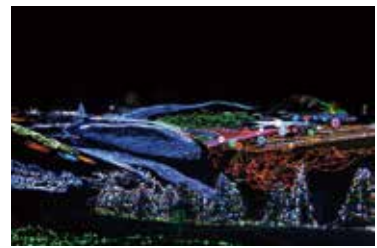
平成30年4月実施に向けた組織機構再編の検討を行なう中で、課の統廃合等の状況によっては、配置換え等を行う可能性がある。総合保健福祉センター建設の実施設計時に先進的な事例等を参考にし、市民にとってわかりやすい表示サインの設置について、費用対効果等を考慮し検討する。

奨学金基金運用

問 原資を充実させるための取り組みは。

高須賀教育委員会事務局長

市内外へ周知を図り寄附金を募り、基金原資の増強に努めている。寄附をいただいた方のご意思を尊重



香川県国営讃岐まんのう公園で行われているイルミネーション

問 東温市でも実施するにはどうか。

イルミネーション

し、東温市独自の就学支援策の一つとして給付型奨学金制度を運用していく。

丹生谷産業建設部長

新たな観光資源の創生につながることに、地域でのコミュニケーションツールとしても活用できることから、にぎわいの創出の一つとして、地域や団体、事業所などと連携し、継続的に実施が可能な場所の有無や、費用対効果なども含め、検討したい。



森 眞一 議員

安心して受けられる 介護保険制度へ

問 今年4月から要支援の利用者は、市が実施する「総合事業」へ移行するが、サービスの低下はないのか。

今年4月から要支援の利用者は、市が実施する「総合事業」へ移行するが、サービスの低下はないのか。サービスの縮小などはおきないのか。



サービス低下のない介護をめざして

森市民福祉部長

現在、全国一律の基準で実施している介護予防訪問介護と介護予防通所介護が今年4月から、市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（通称「新しい総合事業」）に移行する。東温市では現在実施しているサービスの内容をそのまま移行するのでこれまでと変わらないサービスを提供できる国が採用している月単位の報酬単価と

デマンドタクシーの問題

問 デマンドタクシーの現状は。

デマンドタクシーを市内全域で運行することはできないか。

丹生谷産業建設部長

現在、週2日、予約がある場合に運行している。登録者数は240人となっている。鉄道・路線バスの運行に加えて4事業者がタクシーを運行しており、輸送サービスは確保されている。既存の公共交通網への影響が大きく、多額の

鳥獣害対策支援は

問 狩猟免許取得・更新にかかわる費用支援と野獣肉処理加工施設の開設は。

大森農林振興課長

現在、年間登録費とハンター保険の一部を助成、平成29年度から新規狩猟免許取得費用に対し補助金交付を考えている。

加工処理施設は本市単独の頭数等では整備・運営は難しく今春、近隣市町で施設が稼働するため、運営の実態を見守りたい。

校区外就学の充実を

問 上林・東谷・西谷小学校への校区外就学の対応は。

加藤学校教育課長

昨年の校区外就学の希望は若干あった。募集・周知期間が短く保護者・児童が十分検

負担が必要にもなるため、市内全域での運行は考えていない。

公契約条例

問 公契約は、国や自治体が発注する公共工事や委託事業を民間業者と結ぶ契約のこと。その地域での最大の経済活動になるケースも多い。公契約を結んでいけば、賃金の下限が決められているので、ダンピングなどはおこらない。公契約を結んでいない東温市ではどのような状況になっているのか。

渡部総務課長

調査基準価格を下回った入札があり、失格とした事例がある。ダンピング業者の介入による労働者の労働条件や働くルールの低下などの事例はなかった。

集落営農組織の設立

問 組織化に対する支援対策は。

加藤市長

現在、集落営農組織として農事組合法人が3組織、任意団体5組織で、今年度は組織化1件、法人化1件の予定。組織化支援は設立に要する費用補助や県・JAと協力し人的な立ち上げや自立支援を行っている。



東谷小学校

地震・風水害に 迅速に対処できる 防災対策を



亀田 尚之 議員

問 想定される南海トラフ地震や大規模風水害に、対処する防災対策は。

門田危機管理課長

災害時の通信手段として、全ての小中学校や公共施設18カ所に、災害時優先電話を設置。また災害時に避難者が無料で使用できる特設公衆電話が近日中に指定避難所

16カ所の体育館等に設置される予定。指定避難所26カ所は、耐震性が確保されており、震度6から7の地震に対し倒壊等する危険性が低い建物である。備蓄物資の食糧は避難想定者数の3日分程度を目標に備蓄を進めたい。

高木建設課長

多くの市道橋は、今後、集中的に膨大な補修費用が必要になる。比較的安価な長寿命化修繕を進めその後、耐震化に移行する。

渡部社会福祉課長

安否確認システムの今後は、避難行動要支援者支援プランにより確実な安否確認ができるよう、各地域と連携し取り組む。

池田都市整備課長

仮設住宅の建設候補地は、市有地25カ所を昨年度選定した。

文教市民福祉委員会

委員会での審査概要
◎平成29年度東温市一般会計予算
問 国体開催による体育施設使用料の減収はあるのか。
答 ツインドーム、総合公園、かすみの森公園で、約145万円の減収となるが、国・県からなどの補填はない。
問 コンビニ交付とは。
答 全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用し、住民票、印鑑証明、戸籍、税証明の交付をするもの。
問 病児・病後児保育の松山圏域事業は。
答 東温市民が松山市の病院を利用する場合、広域利用定員枠はなく、空いていれば利用できる。松山市民が東温市の病院を利用する場合は、広域利用枠があり、定員は2人。
問 特定不妊治療費助成の成果は。
答 平成27年度が19件の助成で3件の妊娠、28年度は10件の助成で5件の妊娠につながった。
問 COOL CHOICE普及事業は。
答 裸麦等を使ったスイーツ・麺類等の特産品・加工品にポイントシールを貼り、10ポイント集めた方に市の特産品をお渡しす

◎平成29年度東温市水道事業会計予算
問 志津川土地区画整理事業における保留地の売却状況は。
答 保留地は全体で145区画あり、平成29年2月末現在で88区画が売却済み、12区画が売却予定、合わせて100区画約7割が売却見込みとなっており、残り45区画の早期売却に努めている。
◎平成29年度東温市国民健康保険特別会計予算
問 平成27年度から、国の支援金を引き下げる自治体もあるが東温市の考え方は。
答 県下20市町や国保連合会等で、平成30年度から保険料をどうするか協議を行っている。いきなり県下統一の保険料を設定するのではなく、今の医療費水準、所得水準を加味しながら各市町で決めていく流れになっている。
◎平成29年度東温市後期高齢者医療特別会計予算
問 本年4月から、軽減措置が縮小され、後期高齢者保険料は高くなるのか。
答 今回、今までの7割・5割・2割の軽減特別措置がなくなり、所得割は、5割から2割、元被扶養者の均等割は9割から7割へ軽減率を引き下げる。
賛成多数 原案可決



重信幼稚園改修工事について視察

◎平成29年度東温市介護保険特別会計予算
問 2025年対応で介護保険制度が改正されるが、人材確保・情報確保は。
答 人材確保は、市内の事業所に調査を行い、現在、多数の事業所で充足している。今後高齢者が増加することから、事業所等の人材確保などの把握をしていく。情報確保については、地域包括支援センターと情報共有し、地域で生活できるような支援体制を整える。
◎東温市保育所条例及び東温市へき地保育所条例の一部改正について
賛成多数 原案可決
【委員長 渡部繁夫】 全員賛成 原案可決

総務産業建設委員会

委員会での審査概要
◎平成29年度東温市一般会計予算
問 歳入において固定資産税が増加している理由とは。
答 家屋は新築家屋の増加を、また償却資産は太陽光発電設備の増加を見込んでいる。
問 ふるさと納税記念品の制度に対する見解は。
答 例えば1万円を寄附いただいた場合、その内の約60%は、返戻品や手数料等に費やされる。それに加えて、職員の人件費や希望者に対する広報紙の郵送費の経費等が必要となる。各自治体は、それぞれ知恵を絞りながら、ふるさと納税制度の対応に苦慮していると思われる。
問 とつおん健康医療創生事業で愛大医学部の看護部会が検討している具体例は。
答 さくらの湯にあるプールやトレーニング機器を活用する上で、入浴前後に血圧を測定し、健康チェックなどができるようなシステムをつくりたい。さらにさくらの湯周辺でウォーキングをすることによって、健康増進がはかれるかどうか、具体的なメニューをつくっていきたい。

◎平成29年度東温市ふるさと交流館特別会計予算
◎平成29年度東温市農業集落排水特別会計予算
◎平成29年度東温市公共下水道特別会計予算
◎平成29年度東温市水道事業会計予算
賛成多数 原案可決



志津川土地区画整理事業

◎平成29年度東温市ふるさと交流館特別会計予算
◎平成29年度東温市農業集落排水特別会計予算
◎平成29年度東温市公共下水道特別会計予算
◎平成29年度東温市水道事業会計予算
賛成多数 原案可決

問 事業の中長期的な展望は。
答 現在赤字の状態が続いているが、平成29年度で川内地区統合簡易水道事業が終了する。翌年度から毎年1億円の事業を実施していく計画であるが、現有的資産があり、今後料金改定を行わないとしても平成47年度には黒字に転じる見通しである。
◎東温市附属機関設置条例の一部改正について
◎東温市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について
◎東温市税条例等の一部改正について
◎東温市工場立地法に基づく準則を定める条例の制定について
◎東温市公共下水道条例の一部改正について
◎東温市小規模給水施設の設置に関する条例の廃止について
◎相互救済事業の委託について
以上7件は、
全員賛成 原案可決
【最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書】の採択を求める請願書
賛成者なし 不採択
【委員長 細川秀明】 全員賛成 原案可決

議案等議員別表決結果、及び議決結果 一覧表

○：賛成 ×：反対 可：原案可決 否：否決 採：採択 不：不採択 同：同意 承：承認

議員名		東村温輝	亀田尚之	松末博年	細川秀明	丹生谷美雄	山内数延	渡部繁夫	森 眞一	相原眞知子	永井雅敏	丸山 稔	近藤千枝美	安井浩二	大西 勉	山内孝二	伊藤隆志	議決結果
平成29年第1回定例会（3月）																		
議案 1	平成28年度東温市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 2	平成28年度東温市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 3	平成28年度東温市公共下水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 4	平成28年度東温市水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 5	平成29年度東温市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 6	平成29年度東温市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 7	平成29年度東温市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 8	平成29年度東温市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 9	平成29年度東温市ふるさと交流館特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 10	平成29年度東温市農業集落排水特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 11	平成29年度東温市公共下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 12	平成29年度東温市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 13	東温市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 14	東温市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 15	東温市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 16	東温市保育所条例及び東温市へき地保育所条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 17	東温市工場立地法に基づく準則を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 18	東温市公共下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 19	東温市小規模給水施設の設置に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 20	相互救済事業の委託について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 21	副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
議案 22～37 39～40	東温市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
議案 38	東温市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	同
議案 41	東温市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
諮問 1～3	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
請願 1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	不
議長発議	議員の派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承

※除斥のため採決には加わっていません。
[除斥とは、議員が、自己、父母、祖父母、配偶者、子、孫、兄弟姉妹の一身上に関する議事等に参与することができない制度のことです。]

反対討論

森 眞一
◆「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願」を不採択にした委員長報告に反対する。
アベノミクスの破綻で、貧困と格差が広がった。労働者の平均賃金は、1997年をピークに年収で55万円も減少。日本の最低賃金は、欧米に比べてもはるかに低い。最低賃金の引き上げに対して、中小企業の事業者を支援するため、386兆円に達した大企業の内部留保を活用して、賃金助成や社会保険料の減免などの本格的な支援をすることが必要だ。最低賃金の引き上げは、GDP（国内総生産）の6割をしめる国民消費を引き上げ、日本の景気回復に貢献することも期待される。

賛成討論

丹生谷 美雄
◆「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願」を不採択とした総務産業建設委員会の決定に賛成する。
最低賃金は地方経済や物価の状況を勘案し、4年連続で引き上げられている。全国一律最低賃金制度により地域間格差をなくす等の趣旨は理解できるが、生活水準を考慮しない画一的な賃上げは、都市と地方の格差を助長する恐れがあることから同意できない。
また中小企業支援については、「中小企業等経営強化法」など数多くの施策が昨年から推進され雇用も好転している。財源の裏付けのない制度の拡充は財政の破綻も危惧されることから、推移を見守りたい。

賛成討論

大西 勉
◆平成29年度一般会計予算に対し賛成の立場で討論する。
加藤市長が誕生し初めての当初予算編成である。その中で改善すべきものは多々あるが次の二点について申し上げる。まず政務活動費であるが議員は報酬から活動経費を捻出すべきである。また総合保健福祉センター建設は、いかに有利な助成があるうと人口減少社会にあつて、将来に禍根を残す箱物となる。
今私たちの社会が求めるものは、目前に求めている2025年問題。介護・医療などの社会保障費に対する対応施策である。
よくよく熟慮されて健全なる行財政運営を行うことを切望して賛成討論とする。

議会Q&A

Q…百条委員会とはどういうものですか。
A…百条委員会というのは、正確には、議会から100条調査権を委任された委員会、地方自治法第100条に基づき、地方議会が設置する議員で構成する調査特別委員会のことです。通常の質疑応答や調査などでは事実関係が判明しない場合や、疑惑を引き起こした当該自治体内の人物に圧力をかけることなどを目的として設置されることが多いです。
自治体の長や議員に疑惑や不祥事が生じた場合、真相を究明するために開きます。
関係者の出頭や証言、記録の提出を請求する調査権限があり、通常の委員会よりも大きな強制力を持ち、議会で通常行われる参考人招致で関係者が出席拒否や虚偽説明をしても罰則はないが、百条委員会では正当な理由なく出席や証言を拒否したり、虚偽の証言をしたりすると禁錮や罰金が科せられます。

閉会中の主な議会活動



平成29年1月
11日 議会だより編集委員会
16日 議員全員協議会
19日 議会だより編集委員会
20日 議会運営委員会
平成29年2月
3日 議員全員協議会
8日 議会だより編集委員会（反省会）
21日 議会運営委員会
23日 議員全員協議会
総務産業建設委員会

全国市議会議長会 評議員会報告

全国市議会議長会第102回評議員会が、2月9日に都市セクターホテルで開催され、社会文教委員会の委員長として出席し、委員会の活動報告を行った。

全国市議会議長会には、地方行政・地方財政・社会文教・産業経済・建設運輸・国会対策・国と地方の協議の場等に関する特別委員会の各種委員会が設置されており、各分野における要望を取りまとめて国に対して要望活動を行っている。

社会文教委員会では、医療や介護、教育など社会文教施策の充実強化に向け要望を行った。

その結果、平成29年度の社会保障の充実では、子ども・子育て支援新制度を着実に実施するため、すべての子ども・子育て家庭を対象に、市町村が実施主体となり、教育・保育、地域の子ども・子育て支援の量的拡充と質の向上を図ることとされている。ニッポン一億総活躍プランに基づく保育士や介護人材等の処遇改善については、保育士

の2%の改善を図るとともに、保育士としての技能・経験を積んだ職員の追加的な処遇改善を図ることとされている。また、介護人材についてもキャリアアップの仕組みを構築し、月額1万円相当の処遇改善が図られた。文教施策については、複雑かつ困難化する教育課題に対応するために必要な教育予算が計上されたほか、特に教職員定数の改善については、発達障害の児童生徒への通級による指導や外国人児童生徒への指導等にかかる加配定数の基礎定数化が図られた。

以上のような要望活動の結果報告を行い、出席者に対して一層の支援、協力を求めた。



委員会の活動報告をする伊藤議長

視察・研修

東京都昭島市議会
〔一公明党昭島市議団〕



「学習ボランティア派遣事業」について視察に来訪。

宇和島市議会
〔一護憲市民の会〕



「中小零細企業振興基本条例」について視察に来訪。

千葉県勝浦市議会



「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」について視察に来訪。

6月議会の日程(予定)

28 (水)	23 (金)	22 (木)	21 (水)	20 (火)	16 (金)	13 (火)
閉 会	福文 社教 委員 市民 会	建総 設務 委員 産業 会	一 般 質 問	一 般 質 問	質 疑	開 会

議会インターネット中継

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。
また過去2年間の録画中継もご覧になれます。
(市ホームページアドレス)
<http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/>



東温市イメージキャラクター
いのとん

編集後記

● 3月の卒業式。4月の入学式。惜別の顔や、不安の中に期待を持った子供たちの顔を見ながら、将来この子供たちが活躍できる東温市をつくるため、今我々は何をしないといけないのか考える機会となります。

● 地方創生という御旗のもと人口減少に歯止めをかけるため、様々な取り組みが始まっています。巣立った子供たちが帰ってきたいと思う東温市づくりに取り組んでいきたいと思えます。

(松末 博年)

発行責任者 伊藤 隆志

編集委員
委員長 近藤千枝美
副委員長 松末 博年
委員 山内 孝一
安井 浩一
山内 数延
細川 秀明
亀田 尚之
東村 温輝

表紙撮影／近藤千枝美